

# 横浜市立西本郷小学校

## 令和2年度 学力向上アクションプラン

### 1 学校の状況と地域の実態

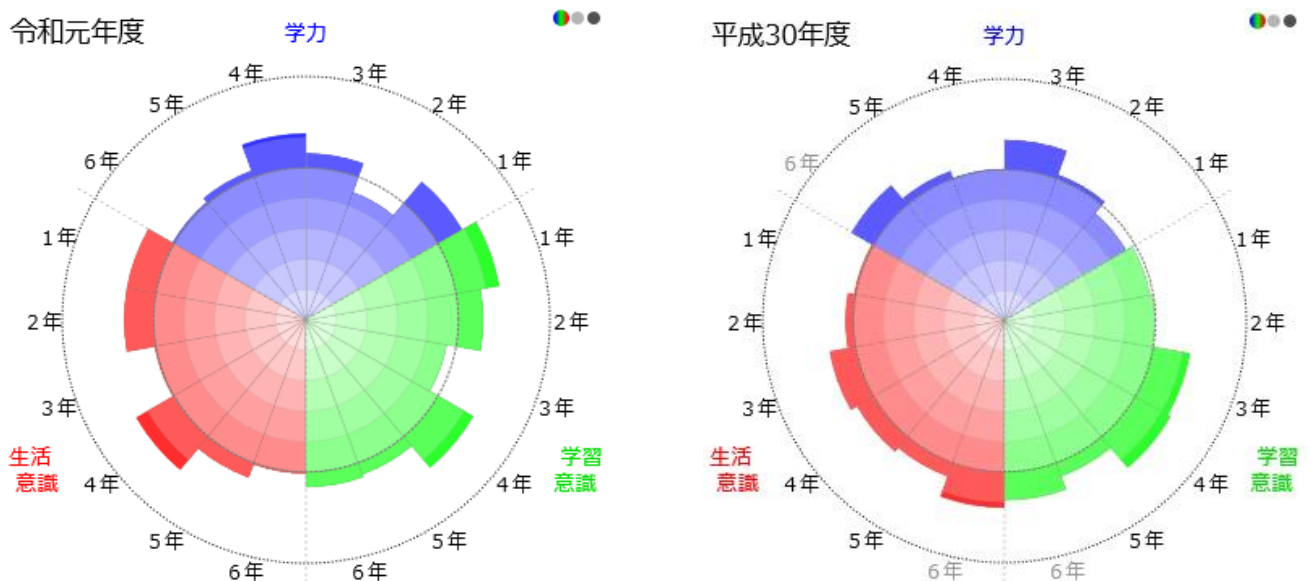
- 経験年数の少ない教員が多く、基礎的な指導技術をよりいっそう身に付ける必要があります。
- 校内での教員の研究・研修は定着しており、全教員の参加する重点研究や初任研、メンター研等のステージに応じた研修をしています。
- 特別な支援が必要な児童への対応が、さらに求められており、今年度は他機関との連携をさらに深め、指導体制の再構築を行っています。
- 多くの地域ボランティアに恵まれ、学校・家庭・地域との連携による学習を推進しています。

### 2 中期学校経営方針

#### 学力向上に関する指導の目標・方針

- ① 教育課程の検証に加え、「学び合い」を大切にした重点研究を行い、自他の見方、考え方を大切にした、共に学び合う児童の育成を目指します。
- ② 基礎・基本の定着、特別支援の充実、ユニバーサルデザイン化による誰にとっても分かりやすい授業を通して、学力向上をめざします。

### 3 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



## ◆学力の概要と要因の分析

学力、学習意識、生活意識の各分野で、おおむね市の平均並みかそれ以上という結果になっています。特に、学習意識や生活意識については、全学年が向上しています。

生活意識調査を詳しく見ていくと、「学校の授業は、分かりやすいですか」という質問に対して、「よく分かる」が46%、「だいたい分かる」が37%で、その合計が83%であり、市の平均の76%（41%+35%）を大きく上回っています。このことから、誰にとってもわかりやすい授業を目指した、授業のユニバーサルデザイン化という本校の取り組みの成果が、少しずつ表れているように思われます。

また、「勉強は、好きですか」の質問では、「好き」が41%、「どちらかといえば、好き」が42%で、合計83%であり、こちらも市の平均の76%（36%+40%）を上回っています。この結果からも、誰にとってもわかりやすい授業が、子どもたちの学習意欲の高まりという、ポジティブな効果をもたらしているのではないかと考えられます。

したがって、今後も授業のユニバーサルデザイン化をよりいっそう進めていながら、国語教科書の音読や読書の習慣化、国語・算数スキルタイムの活用、取り出し授業といった特別支援の充実により、基礎・基本の学力の定着を図るといふ、従来の取り組みを推進していきます。

### ※教科学習の状況

		1年 (現2年)	2年 (現3年)	3年 (現4年)	4年 (現5年)	5年 (現6年)
国語	学習意識	かなり高い	高い	平均並み	高い	平均並み
	話す・聞く能力	やや低い	かなり低い	やや低い	かなり高い	かなり高い
	書く能力	高い	高い	高い	かなり高い	やや高い
	読む能力	かなり高い	やや低い	やや高い	高い	低い
	知識・理解・技能	平均並み	平均並み	やや高い	高い	高い
算数	学習意識		高い	平均並み	高い	やや高い
	数学的な考え方		低い	やや高い	高い	やや低い
	技能		かなり低い	高い	やや高い	平均並み
	知識・理解		低い	高い	かなり高い	高い
社会	学習意識			かなり低い	やや高い	やや低い
	思考・判断・表現			平均並み	高い	やや低い
	技能			平均並み	高い	高い
	知識・理解			やや高い	かなり高い	高い
理科	学習意識			平均並み	かなり高い	平均並み
	思考・表現			高い	高い	平均並み
	技能			平均並み	やや高い	やや高い
	知識・理解			やや高い	高い	やや高い

## 4 令和2年度 目標と具体的方策

### 令和2年度 目標

- 自他の見方・考え方を大切にし、共に学び合う子どもを育成します。
- 子ども一人ひとりの切実感や達成感を大切にし、個の実態に応じた楽しく分かりやすい授業展開を工夫します。

### (1) 学校組織としての共通の取り組み

- ① 新教育課程の検証に加え、「主体的・対話的な学び」を大切にした重点研究を行い、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
- ② 誰にとっても分かりやすく、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。〈ユニバーサルデザイン化〉
- ③ 一人ひとりの児童を見取り、学級・学年集団を把握し、基礎・補充・発展などを取り入れた授業、特別支援の充実、少人数指導、基本の算数タイムなどの多様な授業形態を取り入れ、指導の充実を図ります。

### (2) 教員一人ひとりの共通の取り組み

#### 【基礎・基本の学力の習得】

- 朝のスキルタイムを活用し、算数の計算問題、国語の漢字練習、読書等に取り組みます。
- 国語科教科書の音読を重視し、家庭学習での音読・読書の習慣化を図ります。

#### 【言語活動の充実】

- 国語の学習に加え、その他の教科・領域でも、目的に応じたさまざまな言語活動（説明する文章、記録、報告、紹介する文章を書いたり、話し合ったりなど）を通して学習を進め、深めていきます。

#### 【研究・研修の充実】

- 全教員が年に1回以上の研究授業や実践提案を行い、全教員で検証を行います。
- 全教員が区の教科・領域の研究会に属します。
- 教科だけでなく、人権・いじめ防止・特別支援等に関する研修を行います。
- 初任研、2・3年次研、メンター研等、ステージに合わせた研修を行います。
- 自分の課題に沿った研究をします。

#### 【個に応じた指導の充実】

- 支援・配慮を要する児童の理解や支援方法を探る職員研修を行います。
- スクールカウンセラー、特別支援学校、療育センター等他機関とも連携します。
- 特別支援の充実、少人数指導、基本の算数タイムなどの多様な授業形態を取り入れ、指導の充実を図ります。